

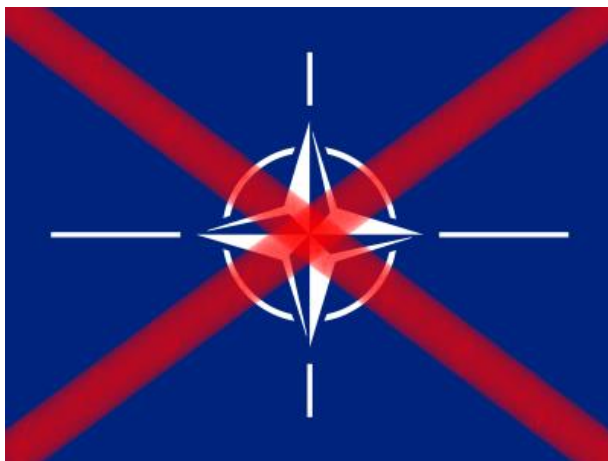
NATO を直ちに終わらせよ：世界を第三次大戦に追いやる

狂気の機関

【訳者注】トルコという危険なものを、さらに危険な悪である NATO が利用する可能性があるという。シリアとトルコの上に緩衝地帯がないことを考えれば、この論文の言うように、ここが第三次大戦の、一触即発の発火点になるというシナリオは十分考えられる。NATO とは本当は何だったのか？ いかにも国際的な、公的な必要性から生まれた同盟のようだが、実はイルミナティの私兵集団と考えてよいのだろう。戦うのは、祖国を守る兵士などではない、傭兵あるいはテロリストである。「ブッシュは征服を望んでいた」と書かれているが、これはアメリカ大統領ブッシュではなく、NWO のブッシュ家であろう。

By Eric Zuesse

Global Research, February 13, 2016



1991 年に、対抗するワルシャワ条約機構がなくなってからも、NATO が存続しているのは、世界を是が非でも、第三次大戦に向かわせようとする狂気を示すものである。

その戦争の引き金は、今、トルコという NATO メンバーの手に預けられている。トルコは、隣国シリア侵略しようとしており、またトルコは、シリアへの南下侵

略に備えて、シリアの北側国境に大量の部隊と兵器を配備している「湾岸協力会議諸国」(GCC) の支援を得ている。(ここには、アメリカの兵器の世界最大のバイヤーである、サウジ・アラビアが含まれている。)

<https://consortiumnews.com/2016/02/06/risking-world-war-iii-in-syria/>

<http://gulfstateanalytics.com/archives/work/turkey-and-qatar-close-allies-sharing-a-doomed-syria-policy>

ひとたびGCCが、トルコ領内からシリアを侵略するなら、シリア軍とそのロシア同盟軍が、

シリア内部で彼らを迎え撃つだけでは、十分でないであろう。なぜなら、その場合、侵略者を敗退させるためには、反攻しなければならず、そうなれば、NATO メンバーであるトルコへの侵入が必要になるからだ。これは、シリアの侵略者に対する防衛のための逆侵略であり、いかにそれが道徳的に必要であろうと、次のような理由で、核戦争の引き金となるだろう——



NATO（北大西洋機構）条約は、その第 5 条《集団的防衛》に、（NATO の要約によると）「集団的防衛とは、同盟国の一つに対する攻撃は、すべての同盟国に対する攻撃と考えられることを意味する」と主張している。言い換えると、シリアとロシアが、トルコの侵略に対し、トルコを逆侵略することによって対抗するときには、NATO 同盟国は、条約の義務を果たすために、自動的に、トルコを、シリアとシリア同盟国ロシアによる、トルコ“侵略”から防衛することになる。

http://www.nato.int/cps/en/natolive/official_texts_17120.htm

http://www.nato.int/cps/en/natohq/topics_110496.htm

ロシアはこれに対して、自分の同盟国をそこに見捨てるか——これはロシアが、自分の同盟国に対する NATO の侵略に屈したことになるだろう——あるいは、自分の同盟国への道徳的義務を果たすことで、ロシアと NATO 諸国の間に第三次大戦が始まり、そうなれば全面的核戦争となって、文明は終わり、この惑星上にこれ以上住むことが不可能になるだろう。

これは、1991 年の「ワルシャワ条約機構」の解散以来、全く必要のなくなった危険物であり、NATO が、終結すべきだったその時を超えて存続してきたことは、（正直に言って）見え見えの悪だった。

その当時、1990年の米大統領だった、ジョージ・ハーバート・ウォーカー・ブッシュは、他の NATO メンバーに対し、彼と彼の外交員がミハイル・ゴルバチョフに口頭で与えた伝言と保障に矛盾して、私的な場所でこう言った——冷戦は今やと終わった、「えー、いまいましい！ 勝ったのは我々だ、彼らではない。」ブッシュは、密かに、ロシアに対する軍事的“勝利”にこだわっていた——冷戦の原因と言われていた共産主義が終わったにもかかわらず。ブッシュは征服を望んでいたのだった。その後のすべてのアメリカ大統領は、その悪なる意思を継承した。<http://www.washingtonsblog.com/2015/09/how-america-double-crossed-russia-and-shamed-the-west.html>

そのとき以後の NATO の存在のあらゆる瞬間は、ブッシュの嘘の継続であった。それは今、致命的な嘘になっている。なぜなら、すべてのその後の米大統領は、NATO を存続させただけでなく、その構成員を増やし、NATO をはるかロシアの国境まで拡大したからであり、オバマ大統領は、(彼の“防衛”長官アッシュ・カーターを通じて) 最近、アメリカは、2017年までに完了すべき手順として、ロシア国境にアメリカの兵器と軍隊を4倍を増やすことを明らかにしたように、次期大統領にこれを完成させようとしている。

トルコは待つことができない。1991年以来、西側を支配してきた狂気と悪が、今、トルコの髪の毛一本にかかっている。この NATO という銃は、現実には、この惑星上のすべての人々に向けられている——たとえトルコの狂人がすぐには引き金を引かなくても。

NATO を直ちに終わらせよ。取り返しのつかなくなる前に。